

かがやきクラブ都筑

第十四回俳句の集い

令和二年八月二十八日（金）

特選

12	真つ新な朝（あした）へ継なく夕焼よ	和田 待子	G O G O クラブ
16	夕焼の野良（のら）を後（あと）にし老夫婦	安藤 博	牛久保東年輪会
23	故郷を去るや夕焼見尽くして	臼杵 実代	M G C R S シニアクラブ
31	夕焼やりハビリ室の広き窓	守谷 弘	東方第一和楽会
34	夕焼の道に零れる童唄	宮村 順子	加賀原クラブ

入選

3	夕焼の墨絵ぼかしの富士仰ぎ	川口 素行	東光会
6	川遊び夕焼け雲と家路かな	松田 光正	G O G O クラブ
8	夕焼のキャッチボールに児らの声	牟田 靖子	G O G O クラブ
18	ピルの窓夕焼の先富士の山	佐藤 晃	勝田永寿会
20	夕焼に映（は）ゆる浜辺や波しぶき	福井 千賀子	勝田団地寿々の会
26	夕焼の宙に漂ふ童唄	福本 昭夫	M G C R S シニアクラブ
32	夕焼やグラデーシヨンのビルと空	君塚 正子	高砂会
33	夕焼や空を見上げるマスク顔	田丸 千代	高砂会
37	夕焼や銀鱗躍り竿撓る	杉田 強	松寿会
40	追憶の浄土が浜大夕焼	小田倉 五男	見睦会
42	夕焼雲日がな一日庭いぢり	手塚 光子	川和団地シニアクラブ
43	夕焼や幼なじみの顔と顔	田宮 栄子	ふじみ会
44	五能線鳥も吸い込む大夕焼	市川 喜美代	つづきが丘クラブ
56	紫陽花の白き花びら雨匂ふ	小松 哲男	G O G O クラブ
57	草餅を一つ食（は）みてや妣（はは）を恋（こ）ふ	佐藤 勝子	G O G O クラブ
60	田圃道（たんぼみち）大合唱の雨蛙	矢代 敏幸	G O G O クラブ
61	売り言葉かるくかはして汗拭ふ	男全 コウ	すみれ会
68	琉球の歌に踊りし夏の月	津川 淑美	勝田団地寿々の会
74	潔（いさぎよ）く老いて生きたし初夏の風	三澤 博	仲町台三丁目福寿会
76	帰省子が村の鎮守に祈願する	白石 英子	仲四志クラブ
83	涼しくて忍野八海逆さ富士	吉岡 京子	加賀原クラブ
85	早稲は穂に稻刈る支度（したく）念入りに	北沼 利男	松寿会
86	新盆の母と酌みぬし一夜かな	市川 進一	見睦会
92	笛を吹く少年のごと百合の花	服部 倫子（桐花）	つづきが丘クラブ
93	しぶき上げ鯉の縋（もつ）れる春の川	桑原 正盈	つづきが丘クラブ